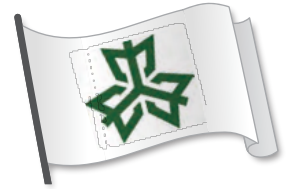




東京2020
復興ありがとうホストタウン

矢巾町×オーストリア ロゴマークが完成！



Toi toi toi

ドイツ語で「うまくいきますように」という意味の“おまじない”です。

恩おくり

恩を受けた相手に直接返すのではなく、別な誰かへ恩を送っていくこと。



町地域おこし協力隊の下町龍也隊員がデザイン。復興ありがとうホストタウンの目的である「支援への感謝を伝える」と、「恩(音)おくり」の意味が込められています。

人が寄り添い歌う「合唱」のイメージがデザインの土台。ハートをかたどった曲線が重なり合うデザインはどこまでも繋げることができ、周囲に波及していく「恩おくり」の様子を表しています。

東京オリンピック・パラリンピックで、オーストリア共和国の「復興ありがとうホストタウン」に登録されている本町で、事業の一環としてロゴマークが完成しました。
町は来年の大会に向けて、このロゴマークを使いながらオーストリアとの交流事業を展開していきます。随時、情報を発信しますので、お楽しみに！

復興ありがとう ホストタウンとは？

東日本大震災から復興した姿を見せ、これまでの支援への感謝を伝えるために、支援を受けた国・地域や大会関係者との交流を行う自治体のこと。被災3県（岩手、宮城、福島）が対象で、岩手県内は本町を含め13市町村が登録されています。町は、オーストリアとの交流を今後のスポーツ、文化、経済、地域の活性化につなげていきます。



音楽部がオーストリア訪問時に開催した交流会（平成30年3月撮影）

東日本大震災の発生後、演奏旅行の際に高校生たちを受け入れていたホストファミリーや現地の小中学生から、多くの義援金や励ましのメッセージが届けられました。このような縁が実を結び今年2月、オーストリアの「復興ありがとうホストタウン」に選ばれました。

不來方高校音楽部は、ヨーロッパを中心とした演奏旅行を定期的に実施。オーストリアの訪問時は、教会での献歌や地元高校生と交流コンサートを行い、音楽を通じて交流を深めてきました。

なぜオーストリア？
不來方高校との交流から

オーストリアの特徴

歴史に裏打ちされた魅力

オーストリアは中央ヨーロッパの南部に位置し、日本から飛行機でおよそ13時間、9つの州からなる国です。国土の約6割がアルプス山脈の中であり、非常に自然豊か。都市では、音楽の都・ウィーンに加え、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台のザルツブルクもあり、古くから音楽文化が根付いていることも魅力です。



シェーンブルン宮殿



ザッハートルテ

① 宮廷文化



首都ウィーンにある、13世紀初めに建てられて約650年続いたハプスブルク王朝の重要な歴史的建築が見どころ。宮殿や王宮といった宮廷文化が今も華麗に息づいています。

「シェーンブルン宮殿」は平成8年にユネスコ世界遺産に指定されたハプスブルク家の夏の宮殿で、ウィーン会議の際に舞踏会場として使用された大広間、モーツァルトが6歳の時に御前演奏した鏡の間が公開されています。宮殿の後ろに広がる庭園は1.7平方キロメートルの大きさを誇り、シェーンブルンの名前の由来となった泉や18世紀から残存する、世界最古の動物園などがあります。

② カフェ文化



330年以上も続くウィーンの「カフェ文化」は、平成23年にユネスコ無形文化遺産として認定されています。日本では「ウィンナー・コーヒー」(ウィーン風コーヒー)が馴染みですが、カフェで新聞などを読みながらコーヒーを飲むというウィーンでの日常は、長い歴史の中で育まれてきた文化といえます。なお、世界で初めて来店客に新聞を提供したのは、ウィーンのカフェといわれています。

このようなカフェ文化が根付くウィーンは、有名なチョコレートケーキ「ザッハートルテ」の発祥地とされています。

首都	ウィーン
国土面積	約 8.4 万平方キロメートル (北海道とほぼ同じ広さ)
人口	890 万人 (2月現在)
著名人	モーツァルト
公用語	ドイツ語
日本からの移動距離 (飛行機)	約 13 時間

オリジナルメニューを開発!

～町産品を使ったザッハートルテ～

来年に向けた交流事業の一環として、町是那須塩原市(栃木県※1)、長井市(山形県※2)と連携し、各地の特産品などを使用したザッハートルテを開発しました。

製作には「トムクレープアンドデリ」(佐々木朋美オーナー)が協力。町産品は「ほそかわ農園」の黒落花生を使い、カリカリとした歯ごたえと香ばしさを、濃厚なチョコレートの風味をひき立てました。今後、提供開始に向けて準備を進めます。

佐々木オーナーは「町内に魅力的な食材があることを知ってもらい、食を通じてオーストリアとのつながりを感じてもらえれば」と話しています。



ザッハートルテの開発に携わった佐々木オーナー

※1 那須塩原市 オーストリアのホストタウン

※2 長井市 オーストリアの隣国、リヒテンシュタイン公国のホストタウン